

議会報告会 報告書

彦根市議会議員 和田 一繁 様

広聴委員会

委員 安澤 勝

開催日時	令和8年 4月 9日（木）10時00分 ～ 11時04分
開催場所	彦根市役所1階 市民ホール
出席議員	議員氏名
	馬場和子、安澤 勝
参加者数	2名
内 容	① 昨年10月6日 旭森小学校2年生(身長130センチくらい)が下校時にマムシに噛まれた事案について。すでに彦根市、教育委員会にも問合せしているが、対応に不満があるのとのこと。LINEを見て議会・広聴の日に来られた。 ・被害児童は友達と2人で一緒に下校。正法寺町地先の舗装された道路を歩行中、雑草が生い茂った場所から急にマムシが現れ、被害児童の左手薬指付け根付近を2度にわたり噛み付かれた。被害児童と友達は普通に歩行しており、いたずらに雑草地をガサガサしたり、あぜ道を歩いていたわけでもない。 ・幸い現場と友達の家が近かったので、友達の家から119に電話して救急車で病院へ搬送。血清注射等治療したが、一部が壊死しており、治療のため2週間の入院となった。また、足の裏皮膚の移植手術のため20日の入院となり、その際は車いすでの生活となった。 ・保護者はまちづくり推進課、教育委員会、生活環境課へこの案件について電話をしたとのこと。 ・まちづくり推進課の対応について、閉庁時間を過ぎると「意見として伺っておく」と一方的に電話を切られたのとのこと。教育委員会は、ヘビがいるようなあぜ道を歩いていたのではないかと、生活環境課は、マムシは固有種なので対応(駆除)できないと、全く対応してもらえなかったのことで、人間の命とヘビの命どっちが大事なんだと憤りを感じておられた。

	② 自転車の安全運転対応について。 ・4月から自転車運転に対して青切符制度が導入された。 ・滋賀銀行駅前支店の交差点で、歩行者信号が全青の時、自転車はどのように走行するのが正解か。など交通ルールの徹底を願う。 ・一部、中高生の危険な自転車運転があるように思う。できることなら各路線に自転車専用道路を設けてはどうか。また、安全を守る部署を設けてはどうか。
主な質疑応答および考察	① 下校時にマムシに噛まれた事案では、市の各部署において被害児童とその家族に寄り添った対応がなされていたのか確認が必要であると感じた。 事実関係は不明であるが、小学2年生の児童が正に被害に遭っているにもかかわらず、「意見として伺っておく」で閉庁時間を過ぎたら一方的に電話を切る対応には疑問が残る。ヘビがいるようなあぜ道を歩いていたのではないかと状況確認する必要があるが、被害にあった児童と保護者の心情を考えて対応できていなかったため、疑いをかけられたと保護者は感じてしまうのではないか。マムシは固有種だから駆除できないということは理解できるが、安全対策について確認すべきであったのではないか。命にかかわる問題だからこそどういった対応が求められるのか考える必要があるのではないかと思う。 また、地域と関係部局が一緒になって再発防止に努めるべき事案であったのではないかと思われる。併せて、他の地域でも同じような事案が発生する可能性があり、教育委員会は他の小・中学校に注意喚起を行うべきではないか。また、「毒ヘビ出没注意」など看板を設置するなど対策が必要だと感じた。 実際、登校時に捕まえたヤマカガシ(おとなしいがマムシより毒性は強い)を持ってきている児童もいると仄聞している。児童・生徒に対して不用意に捕まえたり、草むらには近づかないように指導が必要だと感じた。 ② 来られた方は、損保保険の知識もあり事故の抑止を望んでおられた。自転車の安全運転についても交通ルール等の周知徹底を図る必要があると感じた。

議会報告会 報告書

彦根市議会議長 和田 一繁 様

広聴委員会
委員 森田 充

開催日時	令和8年 4月 9日（木） 12時00分 ～ 13時00分
開催場所	彦根市役所1階 市民ホール
出席議員	議員氏名
	森田 充
参加者数	1名
内 容	●彦根市役所も近隣の米原市役所のように市民の方々が使いやすい開かれた市役所になってほしい。
主な質疑応答および考察	●上記意見があったことをお伝えする。 ●セキュリティ等問題がないか考える必要がある。 ●お金をかけ新たなスペースを設けることは難しいが、お金をかけず開かれた市役所に繋げられないか考えていくことは必要だと思う。

議会報告会 報告書

彦根市議会議長 和田 一繁 様

広聴委員会
委員 小川 隆史

開催日時	令和8年 4月 9日（木） 13時00分 ～13時53分
開催場所	彦根市役所1階 市民ホール
出席議員	議 員 氏 名
	小川隆史、馬場和子
参加者数	1名
内 容	不登校問題について フリースクールよりも、学校でのSSR等によって不登校児対策を実施すべき
主な質疑応答および考察	フリースクールでの不登校対策がクローズアップされているが、不登校対策は学校がしっかりと対応する必要があると思う。 相談者自身は教職員であったとのことで、以前、彦根市は、彦根モデルとでも言うべき形があった。具体的には、学校で、担任とは別に、不登校児や保護者に親身に相談を聞き取り、対応をする先生が学校に配置されていたため、今のように、フリースクールに頼らず、学校で解決する仕組みができていたとのことであった。 ⇒市長・教育長に対し、学校内での不登校・いじめ等に対応できる教員を配置することやSSRでのきめ細かい対応を相談者が求めておられたことを報告することを確認した。